

# 「回答例教えて」就活で3人に1人が 生成AIを活用 面接官に見立てるケースも

---

22161020 露原秀斗

# 概要

---

- ・最近是对話型人工知能(AI)「チャットGPT」など生成AIを活用する学生が目立っており、5月末時点の民間調査で3人に1人が就活に活用済みであることが分かった。
- ・生成AIを面接官に見立てて想定問答を作成するケースが一定数みられ、企業側からは補助的な利用方法にとどめるよう求める声も上がっている。
- ・調査では有効回答4224人の37.2%が就活で活用したことがあると答えた。
- ・割合だけで見れば前年調査(18.4%)の約2倍に達した。

# 用途

---

(複数回答)

- ・ESの推敲(添削など) 56.6%
- ・ESの作成 41.7%
- ・自己分析 28.8%
- ・業界研究 25.2%
- ・面接練習 17.8%

など

# 活用理由

---

(複数回答)

- ・アウトプット(発信内容)の改善 57.3%
- ・作業時間の短縮 53.9%
- ・より良いアウトプットが出せる 36.3%
- ・作業ミスを減らす 25.5%
- ・自力で出したアウトプットよりも精度や質が高い 12.2%

など

# 企業の反応

---

## 【東芝の担当者】

「AIをうまく取り込み、学生自身の不得意な領域を補強することが可能であれば、それはビジネスにも通じる」

## 【通信教育大手の担当者】

「生成AIで情報収集などを効率化し、志望動機の作成など時間を使うべきところに力を注ぐのは良いと思う」

## 【ローソンの担当者】

「AIを使わずに自分本来の適性や資質を表現してほしい」

## 【マイナビキャリアリサーチラボの中島英里香研究員】

「生成AIの利用は今後も増えるだろう。ただ、学生側も内定を得ることがゴールではないので、生成AIにゼロから頼るのではなく、補助的なツールとして使うべきだ」

# 記事へのコメント

---

- ・壁打ちのように生成AIを使うことで、思考の幅を広げてアウトプットの質を高めることができる。
- ・どんどん使って欲しいし、「こう使いました!!」とアピールして欲しいくらい。
- ・AIが作ってくれた回答から、どれだけ自分の全てを反映したものにブラッシュアップできるかが勝負。
- ・生成AIの生成物をそのまま使い続けると自分なりのものの見方や感じ方を見失う。

# 感想

---

- ・未だに3人に2人が生成AIを活用していないというのは、少ないと思った。
- ・あくまでも生成AIの活用は補助的な役割であり、最終的には自分の意見を述べる必要があると思った。
- ・ES作成や添削など、就活で生成AIを有効活用したいと思う。